

平成30年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）（大阪府）

－ 予想収穫量（主食用）は2万4,700 tの見込み －

1 作付面積

平成30年産水稻の作付面積（子実用）は5,010haで、うち主食用作付見込面積は5,000haが見込まれる。

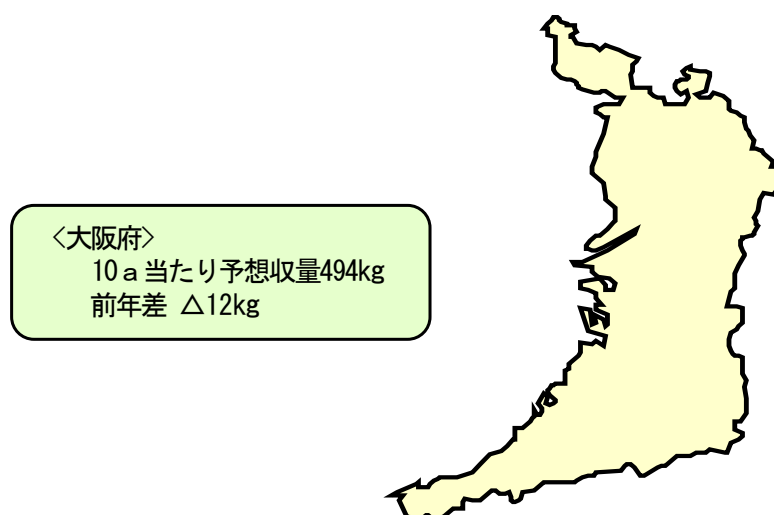
2 作柄概況

- (1) 全もみ数は、穂数及び1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから「平年並み」となった。
- (2) 登熟は、9月の気温及び日照時間が平年を下回ったものの、10月はおおむね平年を上回って推移したことから「平年並み」が見込まれる。
- (3) これらのことから、10月15日現在の10a当たり予想収量は494kg（前年産に比べ12kg減少）が見込まれる。また、農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は99となる見込み。
- (4) 被害は、台風第20号、第21号の通過による暴風雨により、早生種を中心に倒伏が発生した。また、山間部を中心に獣害等の発生がみられる。

3 予想収穫量

以上の結果、予想収穫量（子実用）は2万4,700 t（前年産に比べ1,400 t減少）が見込まれる。うち、主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は2万4,700 tが見込まれる。

図 大阪府の10a当たり予想収量（10月15日現在）



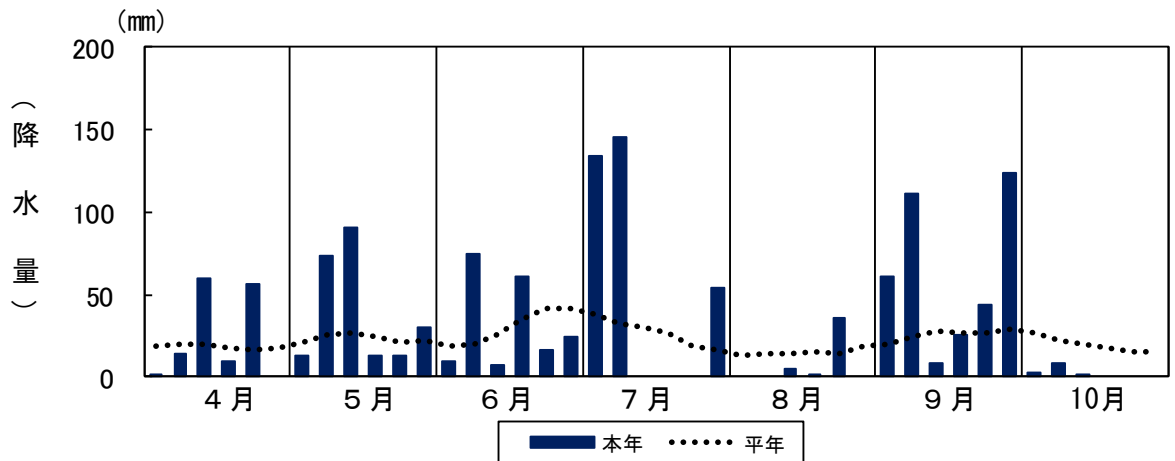
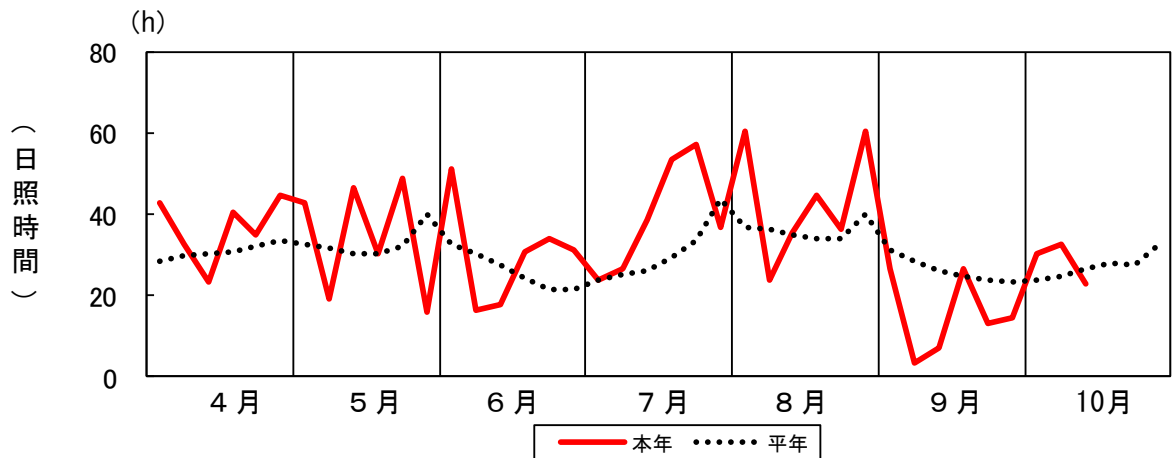
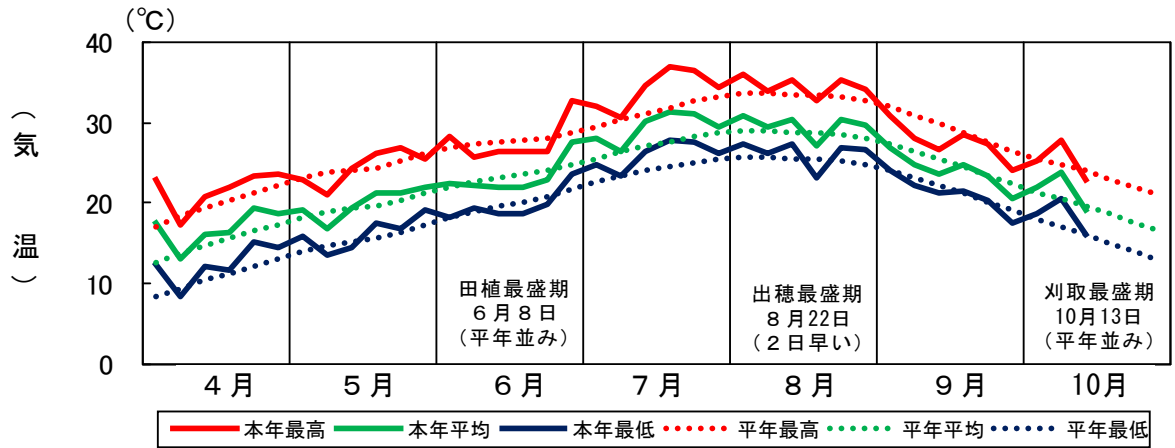
- 本調査は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終わっていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。
- この資料は、「平成30年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）（近畿）」（平成30年10月31日公表）の補足資料として作成したものである。

本資料は、近畿農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/yotei/2018.html> 】

【参考】

大阪府（大阪市）の気象



資料：気象庁『アメダスデータ』

注： 田植期、出穂期及び刈取期の最盛期は、府平均の期日である。
 なお、() は、対平年差である。

【お問合せ先】

近畿農政局 大阪府拠点 統計チーム

電話：(代表) 06-6943-9691 内線238
 (直通) 06-6941-9659
 FAX： 06-6944-1208